

トム兼松 <http://tomkanematsu.com/index.htm>

岐阜県の生まれ。1985年米国ボストンのパークリー音楽院を卒業した。ギタリスト、ジョー・コーン（父親は有名なバリトン・サクソ奏者のアル・コーン）にも師事しており、学生時代からリー・リトナーやラリー・カールトンといったフュージョン・ギタリストを好んで聴いてきた。バンド活動を行い、スティーブ・フォックス（元ゴダイゴ）、アレックス・イーズリー（ゴスペル等、幅広く共演経験を積んでいる。99年に、やはりアメリカのニューイングランド音楽院で勉強してきたジャズ・バイオリニスト山下兼生と双頭ユニット、アート・オブ・ストリングスを結成し、同年10月にCD「サンクスギビング」を発表した。この作品にはゲストにパークリー卒業生であるマルタ（アルトサクソ奏者）や大坂昌彦（ドラムス奏者）も参加し、大いに話題を集めた。またスウェーデンのピアニスト、アンダース・ウイクとのCD録音（ストックホルム録音）も行っている。現在、岐阜に住み、国内では名古屋を中心に演奏活動を行っているが、2004年の春からは、関東エリアでも継続的なライブをおこなっている。



P-Rock Super Guitar Live

2013. 5/11 (土)

14:30 開場 / 15:00 開演

出演：トム兼松 アサナギ



Live Studio P-Rock

/ 名古屋市緑区横吹町 1805

前売り: 1,000円 当日: 1,500円 (税込)

※小学生未満のお子様は膝上鑑賞の場合は無料



▼チケットお申込み▼

<http://ptix.co/Xo1H9x>



アサナギ <http://asanagipraise.jp/>

(アコースティックギターによるインストゥルメンタル・デュオ)

■西野修平

14歳の夏にクリスチャンとなる。高校時代は、教会での中高生の会で会長を務めたり、バンド活動に力を入れて過ごす。大学時代は、バイリンガル集会「AFURERU(あふれる)」で、バンドメンバーとして、ロッキーとギターを弾く。その後、大学で知り合った友達とバンドを結成してプロを目指すため、「AFURERU」からは一時脱退する。大学を卒業してしばらくバンド活動を行うが、お互いの方向性に違いを感じ、バンドは解散を迎える。その後、神様を讃美する音楽をしたいという思いが強まり、「AFURERU」に復帰を果たす。その中での活動や、今までの経験を通して与えられたビジョンが「アサナギ」を生み出した。

■綾塚ロッキー

9歳の時にイエス・キリストを信じ、クリスチャンとなって洗礼を受ける。同じ頃からギターを始め、中学生の頃からギターで礼拝の演奏（讃美歌の伴奏）をさせてもらうようになる。その後も様々な音楽に影響を受け、演奏スタイルにも幅が出てくる。1994年音楽をとおしてキリストを伝えることだけを望んで生きる決心を与えられ、以来演奏活動はもちろん、作詞・作曲・CDプロデュースなど多方面で精力的に活動中。現在「アサナギ」をはじめ、妻マーラとのデュオ「RAM's Voice」二人とロッキーの両親合計4人の「綾塚ファミリーバンド」など、様々なユニットでどこへでも出かけて行って、キリストの救いの喜びと感動、愛と平安を届けている。

お問合せ：Live Studio P-Rock 052-877-9979 www.prockkpn.com/